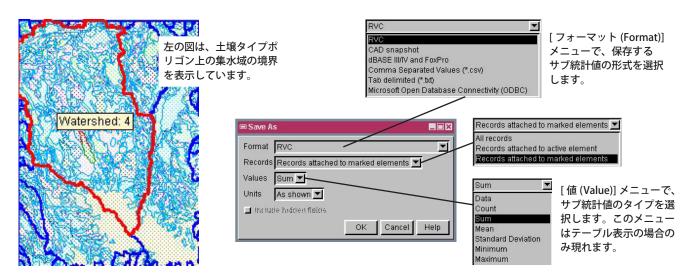
## データベーステーブルのサブ統計の保存

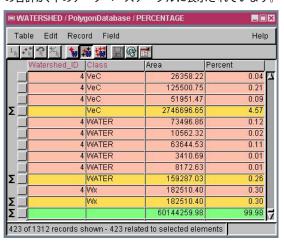
ご存知でしたか?... テーブル表示をしたサブ (類別) 統計をデータベーステーブルとして 保存できます。

## データベーステーブルのサブ (類別)統計を保存することで・・・

- 次のサブ統計値の全てまたはいくつかを保存できます(カウント、合計、平均、標準偏差、最小値、最大値)。
- サブ統計値をさまざまなフォーマットで保存できます。新規データベーステーブルにも保存できます。
- 全てまたは選択したレコードのサブ統計値を保存できます。



選択された集水域には、423個の土壌タイプ (Class)のレコードが含まれています。各土壌タイプごとの面積 (Area)の合計が、下のデータベーステーブルに表示されています。



選択した集水域の各土壌タイプでとの面積の合計が新規データベーステーブルとして保存されています(下図)。



## データベーステーブルのサブ統計を保存する方法

- 更新の表示のでは、またのではでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは
- メニューから [ テーブル ( Table)]>[ 別名保存 (Save As)] を選択して、〈別名保存〉ウィンドウを開きます。
- [値]メニューのリストから希望のサブ統計値のタイプを選択します。
- その他の設定を適宜変更して、[OK] をクリックします。



さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください:

リレーショナル・データベースの管理 Managing Relational Databases

